

株式会社TBSテレビ
代表 佐々木 卓様

「ひるおび！」での八代英輝氏発言への抗議及び降板の申し入れ

9月10日放送のワイドショー「ひるおび！」内で、コメンテーターの八代英輝氏が「共産党は暴力的な革命を党の綱領として廃止していない」との発言を行いました。この発言は、9月8日、市民連合と立憲民主党、日本共産党、社民党、れいわ新選組の4党が総選挙に向けて政策協定を結んだことに対するコメントで、同氏は「こういうところ（日本共産党）とよく組むなあと思います」とも発言しています。

私たちはこの発言には3つの問題があると考えます。1つ目は憲法で保障されている政党活動を正当に行っている日本共産党に対して、事実とは異なるデマで攻撃していること、2つ目は野党共闘の分断を意図したものであること、3つ目は日本共産党を立憲野党として政策協定を結んでいる市民連合への中傷であることです。奈良1区市民連合としてもこの発言は、民主主義を真っ向から否定するものであり、到底看過できるものではないと判断し、抗議をおこなうものです。

八代氏の発言後、日本共産党に対し、TBS広報部は「同氏の発言は誤り」だったとして、撤回して謝罪を行いましたが、八代氏本人は番組内で「私の認識は閣議決定された政府見解に基づいたもの」などと弁解するだけで、日本共産党綱領には書かれていないことを発言した事実については訂正せず、謝罪とは程遠いものとなっています。

このように放送中に、事実とは異なり、さらに憲法上保障された正当な政党活動を行っている一政党を攻撃するような発言がなされたことは、公正・公平、真実を報道すべき立場である放送局として、あってはならないことです。

TBSとして、この事態を重く受け止め、改めて八代氏に対し、真摯に発言を訂正し、また発言を行ったことに対し謝罪を行うよう働きかけるよう申し入れます。もしそれができないのであれば、八代氏の同番組からの降板を求めるものです。

貴社の真摯な対応を求めます。

2021年9月16日

奈良1区市民連合 共同代表 馬場 淳
木村宥子
宮尾耕二
坂下淑子